取扱説明書

TBE148DL

株式会社プリーマタイヤサプライズ

2014.03

目次

タイヤの脱着方法説明書は、ページ付１～９をご参照ください。

部品図、部品表、電気配線図は、別冊のオリジナル取扱説明書をご参照ください。

部品ご発注の際は、図番号（例：Ａ－１２）及び8桁コード番号（例：８１１２０００８）を

記してください。

EC 準拠　宣誓書

89/392/CEE−91/368/CEE

当社モンドルフォは、下記製品に対し、製造者としての全責任を負うことを宣誓いたします。

TBE148DL

当宣誓書は89/392/CEE － 91/368/CEE － 93/44/CEE-93/68/CEE － 73/23/CEE 指示規定に引き続き下記の規格及びその他の規範書類に関連準拠するものです:

モンドルフォ（MONDOLFO）

Ing. Enrico Santoro

１．使用目的

このマニュアルは当社製品の必要部品で、機械の安全使用や保守に関し重要事項が
記載されているので使用法や指示等を良く読んで下さい。

☞この取扱説明書は、いつでも使用できるように、大切に保管してください。

TBE148DL タイヤチャンジャーはトラック、農業用トラクター、建設機械のタイヤ
を脱着用に設計されたもので、対応タイヤサイズは１４“から５２”まで又最大
ホイール幅は2300MM となっています。

全ての機能は電動油圧式で、特殊自在式アームの制御装置でどんな作業位置からも
操作が可能です。

尚、この機械は、この機械の本来の設計目的にのみ使用してください。その他の目的の為の使用は、
不適当であるし、実情にそぐいません。

注意
不適切な、不正確な、または実情に合わない使用による故障の責任を、メーカーは負い兼ねます。

２．安全規定

当機の操作に際しては、特に訓練を受け又指定された人のみで行って下さい。
メーカーの承認の無い当機の改造や不適切な干渉が原因と思われる損害の
責任は、メーカーはその責めを免ぜられるものとします
安全装置の除去や変更はＰＬ法（安全規定）の侵害とみなします。
当機器は爆発や火災の危険のない場所でのみでご使用ください。

安全装置

－　コントロールパネルを開け先ずスイッチで電源を落とす。
－　制御装置の論理回路は作業者の誤りを回避します。
－　キノコガタノ緊急ボタンで機械の電源を切る。
－　制御が解除された場合、全ての機能は機能不能に成ります。

空気充填
－　ＴＢ チェンジャーで、ホイールをクランプ（チャッキング）しての空気充填は禁止です。
　　必ず、安全囲い（セフティーケージ）の中で、空気充填作業を実施して下さい。
－　パンク修理をしたタイヤは、コードが疲労している場合がありますので、空気充填後５分以上を
　　目安として、安全囲い内で破裂しない事を確認してから取り出して下さい。
－　作業者は、安全メガネ及びヘルメットを装着して作業を行なって下さい。

注意
安全装置の改造又は取り外しは絶対的に禁止されています。

注意
組み立て設置は作業は十分注意をして行って下さい。 指示に従はないと、機械の損傷や作業者へ危険が及びます。

注意
作業中や保守点検時は、　長髪は束ねて下さい。又だぶだぶやひらひらの服装を着ないで下さい。 又ネクタイ、ネックレスや指輪を着けないで下さい。

３．輸送

梱包された状態の機械の輸送は、輸送パッレットにフォークリフトトラックの爪を適正な場所に入れてから、移動してください。

注意
梱包状態の機械はクレーンやホイストで吊り上げないで下さい。

注意
どんな時も、機械を移動する前には、機器の容量が十分である事を確認して下さい。

開梱した後の機械の移動には、下記の注意を払って下さい。

－　機械の各角を適当な当てもの（ダンボール）で保護をする事。

機械の取扱／保管

梱包されていない状態の機械の取扱には、アンカーポイントのみを使って下さい。
梱包された機械の保管の場合は、乾燥した場所で、出来れば通気装置の付いた場所で行って下さい。

注意

破損を防ぐ為に、梱包した機械の上に物を置かない事。

 警告

ここで薦めていない方法で機械部品を掴む事は絶対避けて下さい。

梱包された機械の保管環境温度は　－２５℃から＋５５℃です。

４．開梱

梱包を解いたら、機械が完全で無傷であるか、外観上のダメージがないかチェックしてください。
疑問がある場合は、<u>使用せず</u>直ちにお買い求めの業者の熟練したプロの担当者に連絡して下さい。
子供達がケガをするかも知れませんので、梱包材（ビニール袋、発泡スチロール、釘、ネジ、木製パーツ等）を子供の手の届く場所に放置しないで下さい。

注意

梱包材の中にアクセサリーの入った箱はラッピングされていますので、梱包材と一緒に捨てないようご注意下さい。

上記梱包材を廃棄する場合は、きちんと分類し、有害物及び有機物質に変わらないものは、正規の手続きを取り、指定された場所へ投棄してください。

５．組立及び始動

注意

設置地域が決まりましたら、作業安全規定に従って下さい。

安定した、硬い床の上に設置して下さい。必要な作業スペースは確保下さい。

注意

屋外に設置する場合は、適当なシェルターで保護する事。

作業環境条件
－　湿度：　４０％　－　９５％
－　温度：　0℃　－　４5℃

６．設置面積
517　X　635　X　2850M のスペースが設置には必要です。
操作位置から、作業者が機械や周辺域を良く見えること。作業者は外部の人や物の侵入を禁止する。
機械は水平な床に、コンクリートやタイル張りが理想、設置して下さい。ぬかるんだり、不安定な地面は避けること。機械を設置する地面は機械から発せられる負荷に耐えうる事。

注意
500KG以上のホイールを交換する場合のみ、機械をアンカーボルトで固定する事。

アンカーボルトでの固定方法は、
１．　16MM の刃で８０MMの深さの穴を開ける。
２．　穴をきれいにする。
３．　ソフトハンマーでアンカーボルトを穴に叩いて入れます。
４．　45Nmでセットしたトルクレンチを使って硬く締めます。（この数値が得られない場合は穴が大きいか、コンクリートが固まっていないかです）

組み立と運転

各コンポーネントを梱包より取り出したら、全ての部品をチェックし、完全であるか異常がないか確認してください。その後下記に従い各部の組立を行って下さい。

組立に必要な工具：
ドライバー
13 スパナー
ボルトでベースに制御柱を固定します。

電気の接続

警告
どんなに些細な事でも、電気システムに関することは、専門家の手が必要です。

標準機種への電源は、３相２００Vです。
機械の電圧はお客様の特別の要求により工場でセットされています。
電圧に関する如何なる変更にも専門家が行って下さい。

電源用ケーブルは最低4MMゲージの2，３芯+アースは操作パネルのL1，L2，L3 のターミナルへ
接続の事。操作パネルの　ターミナルボードへ電源ケーブルを接続する前に、下記の事を行って下さい。
－　電源が 200V である事のチェック。
－　ケーブルの状態やアース線がセットされている事のチェック。
－　過電流を守るサーキットブレーカーが設置しているかのチェック（定格　３０mA）。
－　充分注意をして機械に線を接続する。

電機接続の仕様は名板に記載された機械の仕様を充たしていなければなりません。
通常作動では、ホイールは時計廻りです；反対の場合はパワーサプライプラグの２本の線を逆にして下さい。

警告

上記注意事項に従わずに起きた如何なる損害に対しても、メーカーはその責めを負いません。又その時点で、保証は消滅するものとします。

７．長期放置の注意

長期間、機械を使用しないで置く場合には、電源を外し、タンクの油圧オイルを空にして、埃等によるダメージを受けないように本体を保護して下さい。乾燥して、損傷の危険のある部分にはグリースを塗って下さい。

８．廃棄処分の注意

機械を使用しなくなった時には、電気、電子、油圧及びプラスティックに関係する部分を取り外して操作出来ない状態にして下さい。残りの部分は鉄屑として廃棄して下さい。
ケーブル等電気材料は銅として廃棄すること。

危険と思われる、下記部品は安全にする様に注意して下さい。
－　油圧タンク
－　電動モーター

規定の処理手順に従って個々のアイテムのカテゴリーを考えて下さい。

日本の処理基準に従って廃棄処分を行って下さい。

油圧オイルのアドバイスと注意

使用済油圧オイルの廃棄
使用済オイルは下水、地下水路、運河に流さないで下さい。集積して専門の廃棄業者に渡して下さい。

油圧オイルの漏れやこぼれ
泥や砂の様な吸収剤でこぼれたオイルの拡散を最小限にして、溶剤で取り除きます。

油圧オイルの使用上の予防策
皮膚に長く付着させない事。
オイルの霧や空中への拡散を防ぐ事。
下記の予防策を行う事；
－ 飛び散りを防ぐ。（機械の上に布か保護スクリーンを掛ける）
－ 石鹸や水で頻繁に洗う。（溶剤は使わない事）
－ レンジで手を乾かさない事。
－ 着衣がオイルでびしょ濡れになった場合、着替えて下さい。
－ 油の付いた手でタバコを吸ったり物を食べたりしない事。
－ 油の付いた鉱物には手袋をはめて下さい。
－ 油が飛び散る場合は、ゴーグルを付けて下さい。
－ 鉱物オイルへの対抗策としてエプロンをして下さい。
－ オイルが霧状になるの場合はベンチレーターを使用して下さい。

油圧オイルの応急手当て手引き
飲み込む － 処置の必要なし。
吸引 － 自然嘔吐の場合は直ぐに医者に掛かって下さい。
吸入 － 大量の強い蒸気又は霧を吸った場合は、外気を吸わせて下さい。
目 － 大量の水で目をすすいで下さい。
皮膚 － 石鹸や水で良く洗い落とす。

９．技術仕様

－ ３相電源 200V 50/60HZ
ギアモーター（チャッキング）
－ ３相モーター 4/2 ポール
電源 200V 50/60HZ 1.5KW － 2.2KW 2 スピード

油圧源ユニット
－ ３相モーター 4/2 ポール
電源 200V 50/60HZ 1.5KW － 2.2KW 2 スピード

	最 小	最 大
－ 機械幅	1730mm	1990mm
－ 長さ	1930mm	2460mm
－ 高さ		1950mm

－　機械重量　　　1000 KG
－　最大ﾎｲｰﾙ重量　　1300KG
－　油圧ﾀﾝｸ容量　　8　L

	最低	最高
－　操作時温度	0°C	45°C
－　耐久湿度	57%	95%（45°C 時点）

10. サービス仕様

	最　小	最　大
－　フランジクランプ幅	120mm	650mm
－　リムクランプ径（ｴｷｽﾃﾝｼｮﾝ無し）	14”	32”
－　リムクランプ径（ｴｷｽﾃﾝｼｮﾝ付き）	32”	52”
－　最大タイヤ径	2300mm	
－　最大タイヤ幅	1220mm	

11. 名板

－🖃 MONDOLFO FERRO SPA

VILAE DELL ‘’INDUSTRIA NO. 20

61037 MONDOLFO（PS）ITALY

－　CE マーク

－　製造年

－　モデル：　**TBE148DL**

－　セリアル番号：

12. 定期点検

機械を効率的に又正しく作動させる為には、メーカーの指示に従い、清掃や定期点検を行うことは絶対に必要なことです。

清掃や定期点検はメーカーの下記の指示に従って特定の人が行って下さい。

油圧レベルのチェック。　必要な場合は、API CI S32か同等の油圧オイルを補充して下さい。
減速装置にグリースがあるかとうかのチェック。必要な場合はVANGARD LIKO-3か同等品
を足して下さい。

注意
＊どんな補充又は上記以外の品質の油圧オイルへの変更は機械の寿命を減じたり、作業性を損なう事があります。

－　駆動部は清潔にして下さい。
－　機械や作業場を清潔にして、重要部分にゴミが入らない様にして下さい。
－　定期的にグリースポンプで各部品にグリースを供給して下さい。

重　要　事　項

レリーフバルブの圧力値を変えない事。又圧力制御の設定値を変えない事。
製造業者は、上記ルールに反して起きた怪我や破損に対する責めは負い兼ねます。

注意
保守点検に際しては、必ず電源プラグを抜いてから行って下さい。 **清掃にはコンプレッサーからの空気で吹き飛ばす事はしないで下さい。**

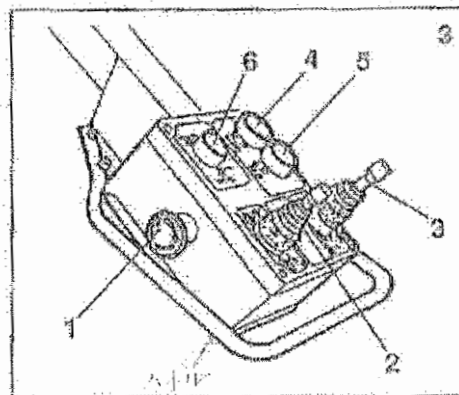
13.　トラブルシューディング

トラブル内容	可能性のある原因	●　処　置 ●
コントロールバー使用時にヒューズが飛んだ。	1. 電源がアースに接続されてい 2. インバーターのショート 3. モーターのショート	● 線の点検。 ● インバーターの交換。 ● モーターの交換。
ビードブレーカーシリンダーの力が充分でない。	1. 油圧回路のギヤーポンプの破損。 2. シリンダーシールの摩耗。	● 油圧ラインの交換。 ● シールの交換。
ターンテーブルの爪が回転しない。	1. インバーターの故障　。 2. コントロールバーの故障。	● インバーターの交換。 ● コントロールバーの交換。
ターンテーブルの爪が回転しない。 (モーターが異音を出す)	モーターが単相運転。	● プラグ又はインバーターの線をチェック。 ● インバーター又はリモートスイッチの交換。 ● モーターの交換。
ターンテーブルの爪の回転力がない。	1. ベルトの張りが弱い。 2. ビードブレーカーシリンダーがタイヤに対し強く押し過ぎ。	● ベルトの張りの調整又は交換。 ● タイヤビードにワックスを塗る。

１４．使用上の注意

TBE148D は指定されて人のみが使用して下さい。このマニュアルに記載してある操作手順に不慣れな人の使用は重大な危険の原因になる事があります。

コントロールボックス

１．　緊急スイッチ
２．　4ー方向ｽｲｯﾁ、ﾀｰﾝﾃｰﾌﾞﾙの正／逆回転及びﾂｰﾙの上下動。
３．　4ー方向ｽｲｯﾁ、ﾀｰﾝﾃｰﾌﾞﾙｱｰﾑの上下動及びﾎｲｰﾙの左右移動。
４．　ﾀｰﾝﾃｰﾌﾞﾙの開き用ﾎﾞﾀﾝ。
５．　ﾀｰﾝﾃｰﾌﾞﾙの閉じ用ﾎﾞﾀﾝ。
６．　高速ﾂｰﾙ移動ﾎﾞﾀﾝ（TBE148DL 機のみ）
７．　ﾂｰﾙ及びﾋﾞｰﾄﾞﾌﾞﾚｰｶｰﾃﾞｨｽｸ回転ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾞｰ。

ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾞｰｱｰﾑを移動してこのﾊﾝﾄﾞﾙを使用して下さい。

ｱﾙﾐﾎｲｰﾙの脱着に際しては、ﾎｲｰﾙに傷や凹みを防ぐ為、特殊ｸﾛｰｶﾞｰﾄﾞ（P/NO. 19120002）を使用して下さい。（ご要望により供給致します）

ホイールの位置取りとｸﾗﾝﾌﾟ

－　ツールホルダーアームを背に倒す。
－　ホイールを垂直に置く。
－　ﾀｰﾝﾃｰﾌﾞﾙを操作し、ホイールをクランプする。

注意
機械が故障したら、安全な距離まで退いてマスタースイッチを切ります。

注意
ターンテーブルの爪が各グリップ点を正確に且つキッチリとクランプしている事を確認する事。

警告
建機用タイヤの重量やｻｲｽﾞを考慮し、安全な操作状況を確保する為に二人の人員を要します。即ちホイールを垂直に保持する為。

注意
500KG 以上のタイヤを操作する場合はﾌｫｰｸﾘﾌﾄかｸﾚｰﾝを使用して下さい。

注意
長時間ﾎｲｰﾙをｸﾗﾝﾌﾟした状態で放置しない事。

タイヤの脱着の前には、ﾀｲﾔの損傷や脱着作業が容易に出来る様にﾀｲﾔのﾋﾞｰﾄﾞ部に潤滑剤を十分に塗って下さい。

警告
建機用タイヤは完全に外す前に出来るだけﾍﾞｰｽ近くに持って来る事。

15.　消化器

機械は多種類な異なった材料から成っておりますので、火災の場合対応がケースによって異なります。

	乾燥材料	可燃液体	電気器具
水	YES	NO	NO
泡	YES	YES	NO
粉末	YES	YES	YES
CO2	YES	YES	YES

上記表は一般的なガイドですが、具体的な事に関しては消化器業者に相談願います。

16. 随時点検　(修理ｴﾝｼﾞﾆｱ用)

A)
下記ﾃｰﾌﾞﾙに記載したﾄﾞﾗｲﾋﾞﾝｸﾞﾄﾙｸを使ってﾕﾆｵﾝ、ﾎﾞﾙﾄ及びﾅｯﾄをチェック又は締め付けて下さい。

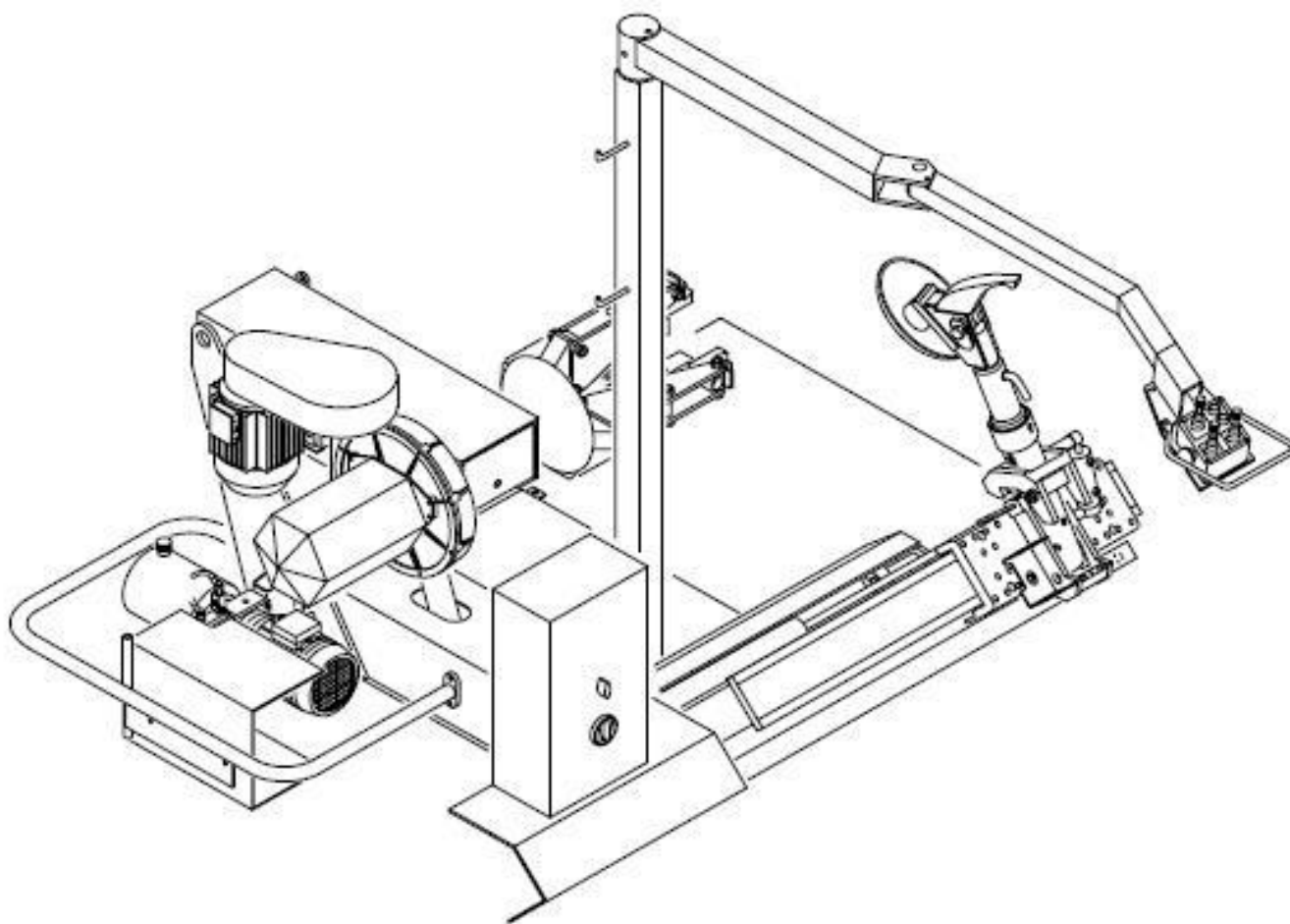
M6	M8	M10	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	M27	M29	M30
Nm 10	Nm 25	Nm 50	Nm 87	Nm 138	Nm 210	Nm 289	Nm 412	Nm 559	Nm 711	Nm 1049	Nm 33	Nm 1422
Kgm 1	Kgm 2.6	Kgm 5.1	Kgm 8.9	Kgm 14.1	Kgm 21.5	Kgm 29.5	Kgm 42	Kgm 57	Kgm 72	Kgm 107	Kgm 2.16	Kgm 145

B)
ベルトをチェックし必要ならモーターサポートのﾀｲﾛｯﾄﾞの調整でベルトを引っ張って下さい。

注意
緊急点検は専門家に依頼して下さい。

警告
油圧関係の点検に際しては、機械を静止状態で置き、ｱｰﾑは下げて、ﾀｰﾝﾃｰﾌﾞﾙ閉じた状態で行って下さい。

TBE148DL取扱説明書

タイヤ脱着方法

株式会社プリーマタイヤサプライズ

目　次

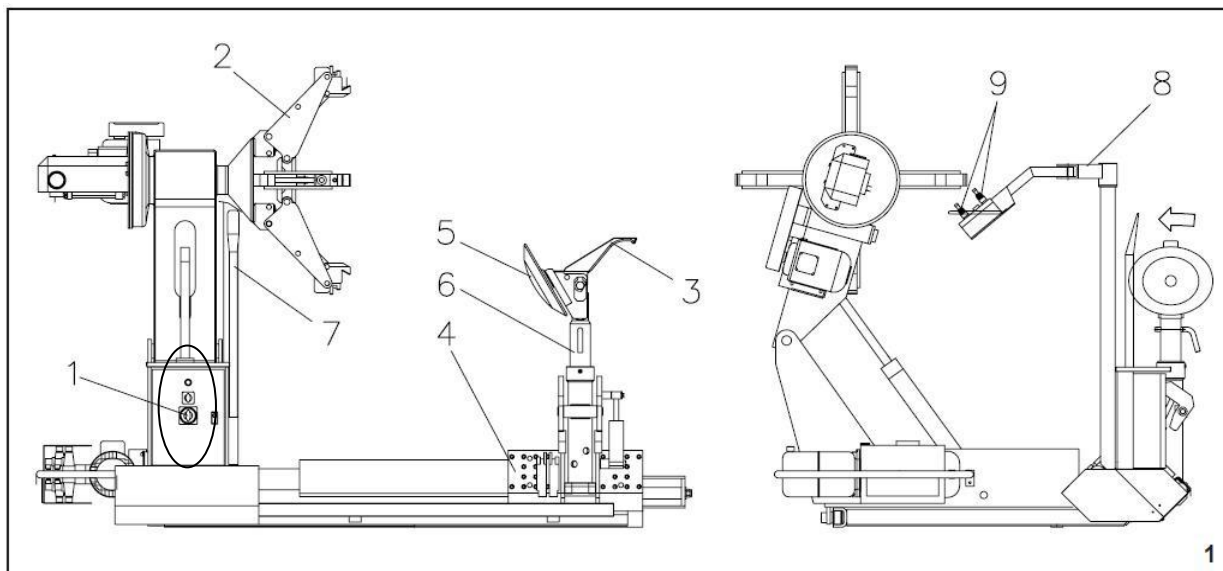
部品図/部品表は別紙をご参照下さい

1.TBE148DLタイヤチェンジャー概要

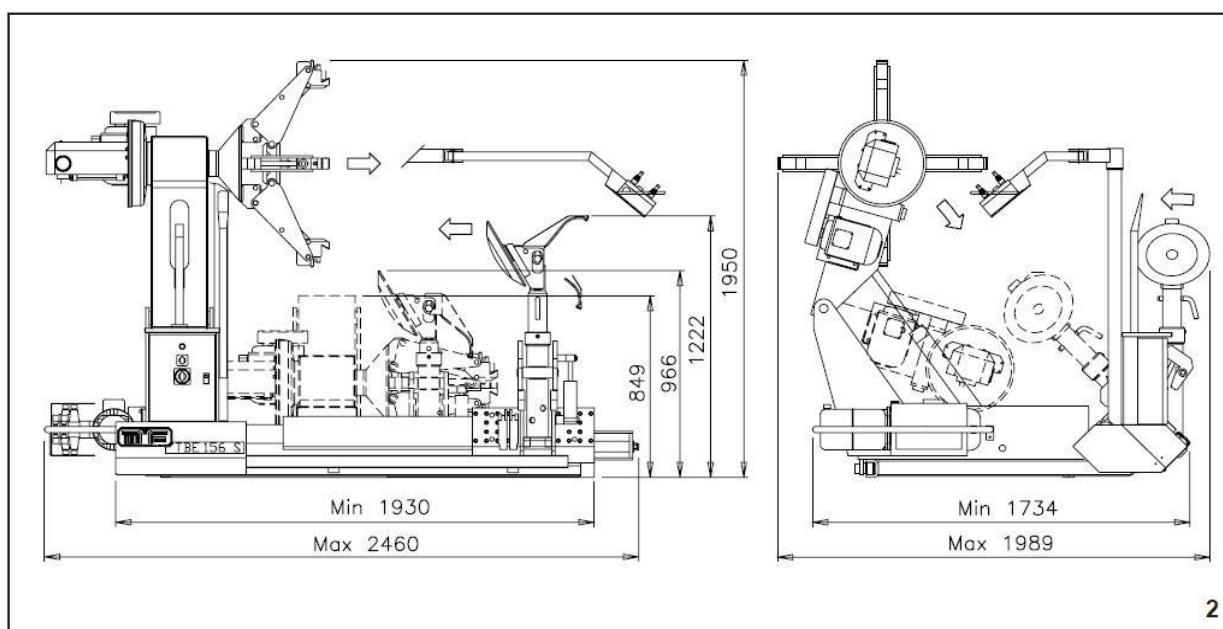
T/Bチューブレスタイヤ、リング付タイヤ、トラクタータイヤ、建設機器用タイヤなどの広範囲にわたる応用の広い油圧式タイヤチェンジャーです。

最小14インチ～最大52インチまでの種々形状の異なったリムをチャッキング出来るようにしたタイヤ専業店向けの用途にあった仕様となっており、主軸の左右両回転、主軸の回転速度が2段階切替式、またマウント・デマウントディスクが油圧起倒式です。
そして最も使いやすい特徴として操作盤(コントロールボックス)をスイングアーム式にして、どの位置からでも操作できるように理想的なデザインでまとめてあります。

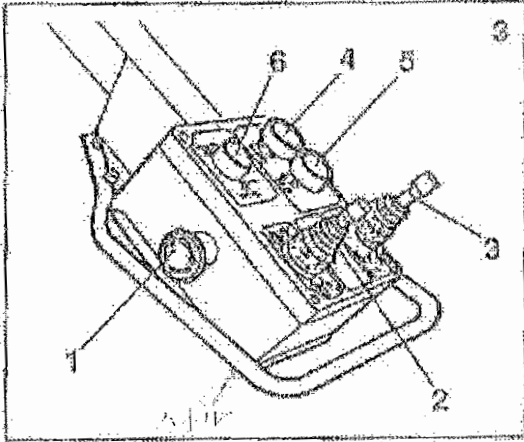
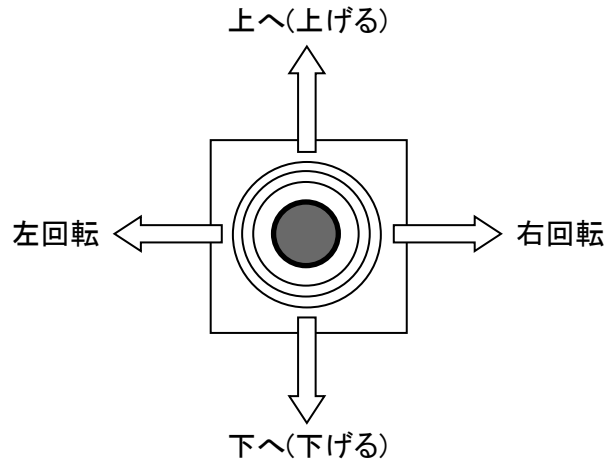
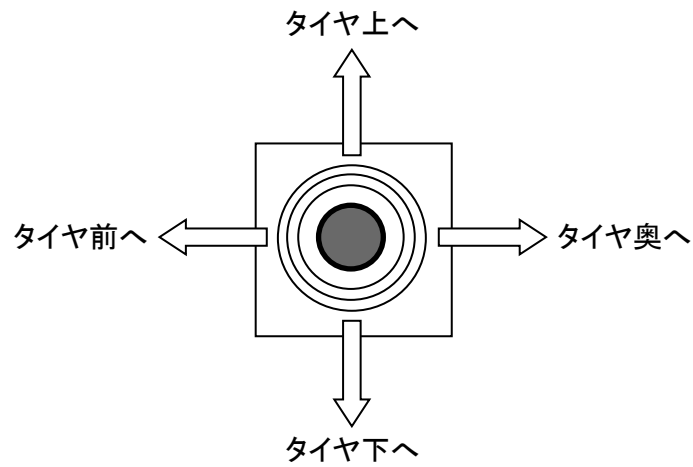
2.各部名称

図－1

1 メインスイッチ＆タイヤ回転速度切替スイッチ
(1:低速　2:高速)
2 リムチャッキング装置
3 マウント・デマウントツール(フック)
(コンビネーションツール)
4 マウント・デマウント支持柱移動架台
5 マウント・デマウントディスク(皿)
(コンビネーションツール)
6 マウント・デマウント支持柱
7 マウント・デマウントレバー
8 コントロールボックススイングアーム
9 コントロールボックス

3.機械寸法

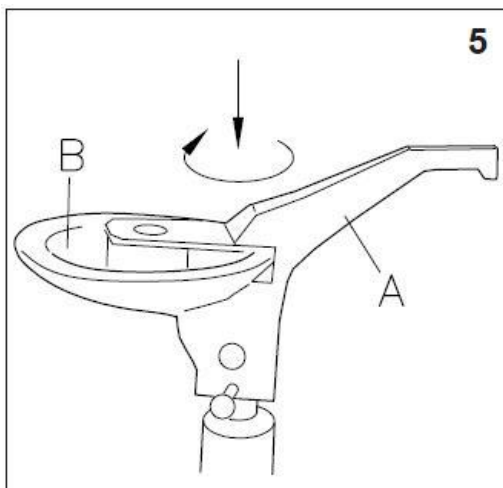
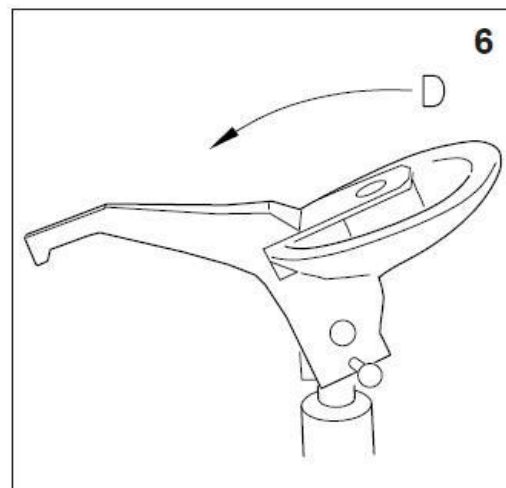
図－2

4.コントロールボックス

ユニバーサルコントロールボックス（手元操作ボックス）

図－３

1 非常停止ボタン
2 タイヤ回転/ツール支柱上下操作四方向レバー

3 タイヤ上下・前後移動操作四方向レバー

4 チャッキング開ボタン
5 チャッキング閉ボタン
6 ツール早送りボタン

5.マウント・デマウントツール方向転換

マウント・デマウントディスクツールが垂直に立っている時、マウント・デマウントディスクツールの根本下方にある足踏みペダルを踏みながら、ツールを手で左右いづれかに回して足を放します。

図－５

図－６

6.リムクランプ能力

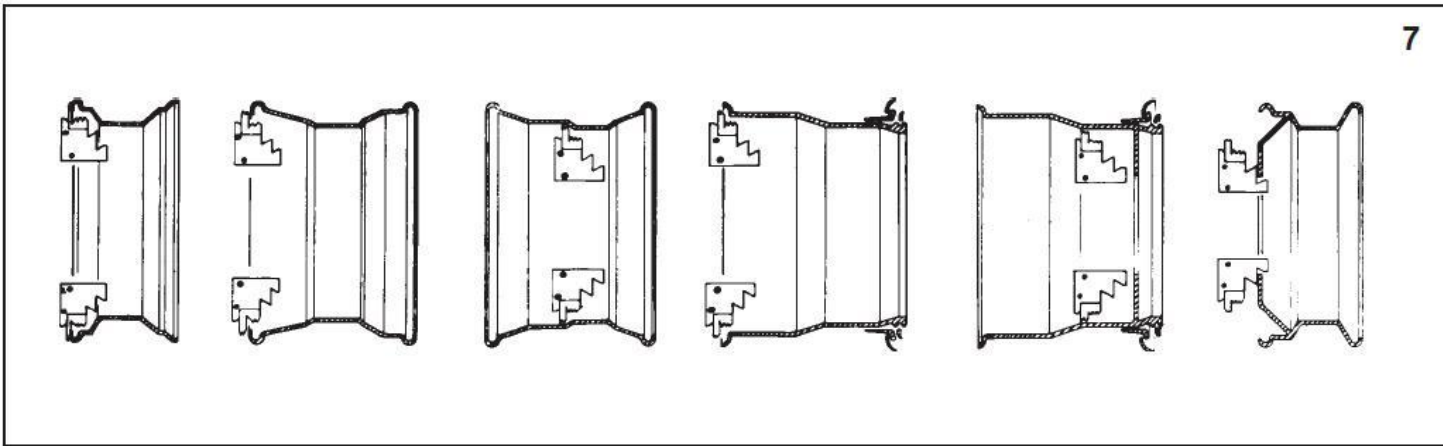
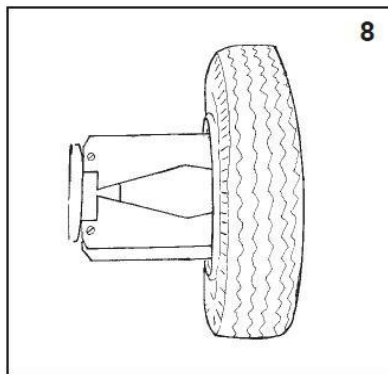
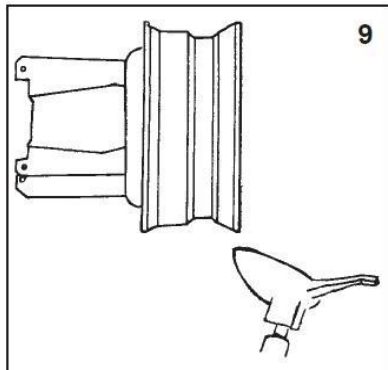
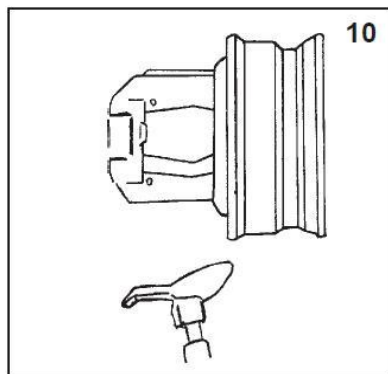
チャッキング範囲

フランジディスクをチャッキングする場合	最小　120mm	最大　650mm
リム部をチャッキングする場合	最小　14インチ	最大　32インチ
リム部をチャッキングする場合（アダプター取付時）	最小　32インチ	最大　52インチ
タイヤ径／幅寸法	最大径　2300mm	最大幅　1220mm

7.チャッキング方法

図－7

図－8

図－9

ビードドロップセンターの位置は、必ず外側（右側）になるように注意してセットしてください。

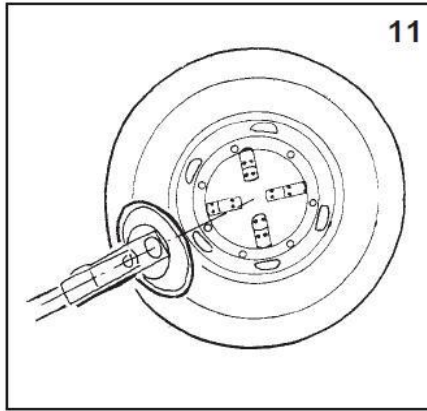
＜参考＞
住友金属製アルミホイール（BS／ダンロップ／ファルケン社）はこの図のようにセットしてください。

古河アルミ（アルコア）製アルミホイール（ヨコハマ／トーヨー社）は中心にあるのでどちらでもよい。

スチールホイールは、メーカーによって異なりますので、ドロップセンターの位置を確認してセットしてください。

図－10

8.チューブレスタイヤの脱着方法

図－11

1 エアーを抜きます。

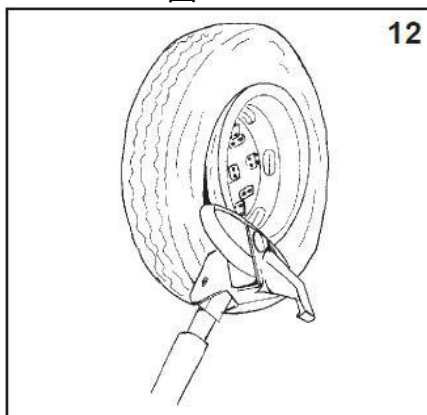
2 マウントツールを垂直に立てます。

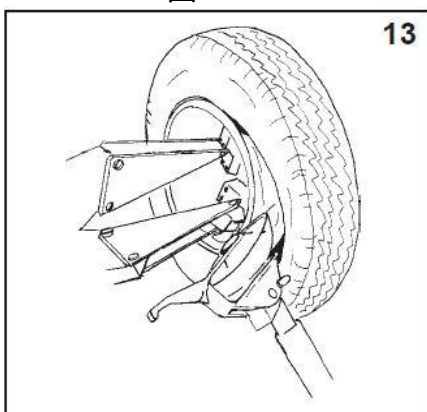
3 タイヤ・ホイールをチャックに固定した後、タイヤを持ち上げて
奥の方へ移動します。

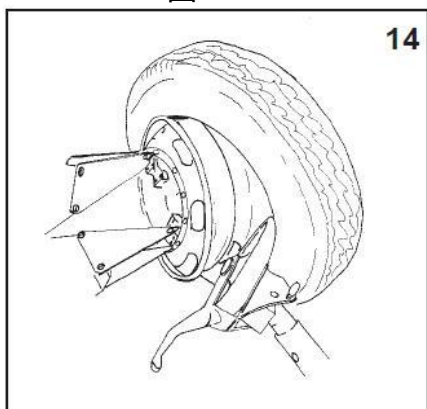
4 ペダルを踏みマウント・デマウントディスクを左回転します。
*ディスク(皿)タイヤを押す方向

5 マウント・デマウントディスクをロックの爪がかかるまで倒します。

6 タイヤを上下させながら表側のビードを押す位置に合わせます。
(図－11)

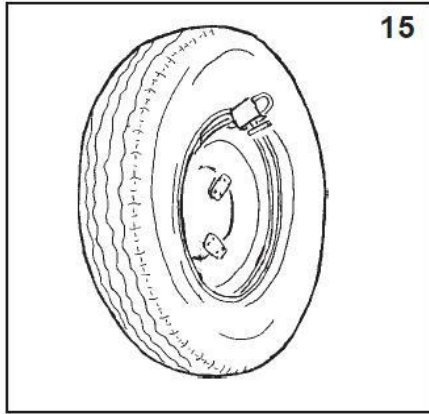
図－12

7 ディスクをビードに押し当てて、右回りに回転しながらディスクを
少しずつ送り込みビードを落とします。
ビードとリムに隙間を作り、ビードクリームをビード及びリムフラン
ジの内側に塗布します。
(図－12)

図－13

8 ディスクを垂直にして右回転し、ディスクを奥に(タイヤは手前)
移動します。ディスクの支柱を倒し裏側のビードにあてます。

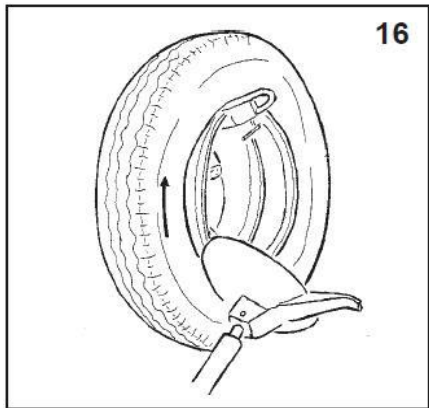
図－14

9 ディスクをビードに押し当てて、右回りに回転しながらディスクを
少しずつ送り込みビードを落とします。
更にディスクを送り込むとビードが外れます。
(図－14)

*ディスクで押されている反対側(径方向)のビードがリムの
ドロップセンターに入り込むように手で補正しながらタイヤを
外します。

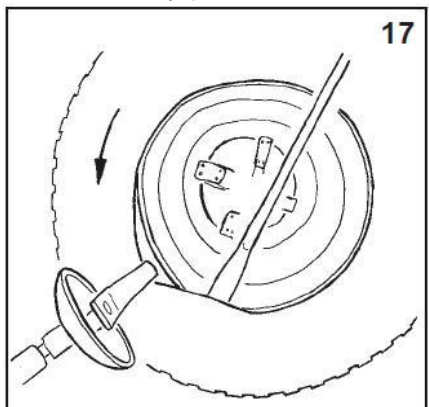
9.チューブレスタイヤの組み付けの方法

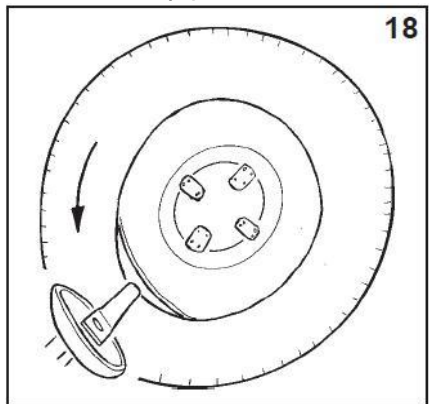
図－15

1 ホイールをチャックに固定します。
2 リムエッジにビードホルダーを固定します。
3 ホイールを回転してビードホルダーを下へ持っていきます。
4 タイヤのビード部にビードクリームを十分に塗り、タイヤを
ホイールに乗せます。ディスクを左回転した後、倒します。
（ディスクはタイヤを少し押す程度に）
5 ホイールを回転させてビードに引っ掛けて持ち上げます。
（図－15）
6 ディスクでビード部を押しながら、ホイールを右回転させて
組み込みます。
（アルミホイールはホルダーが使用できないので、ビードを
ドロップセンターに落としながら手で押さえ組込みます）

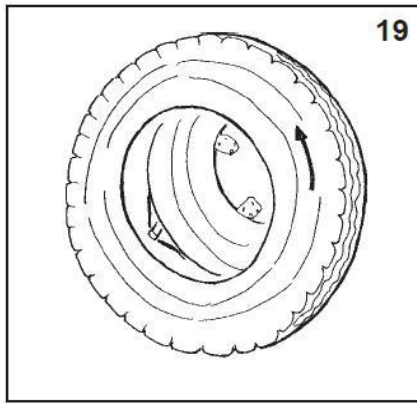
ビードホルダーを用いないタイヤの組み付け方法

図－16

1 ホイールチャックに固定します。
2 タイヤをホイールに乗せます。
3 ディスクを左回転し、支柱を倒します。
4 右手でタイヤを押さえ、タイヤを上にあげ、更にビードをディスク
で押しながらタイヤを右回転させビードを1／３入れます。
5 残りのビード部にビードクリームを十分に塗り、引続き右手で
押さえながら右回転するとビードが入ります。

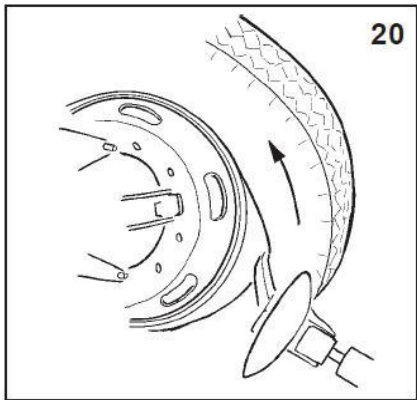
10.L型コンビネーションツールを用いてビードを外す方法

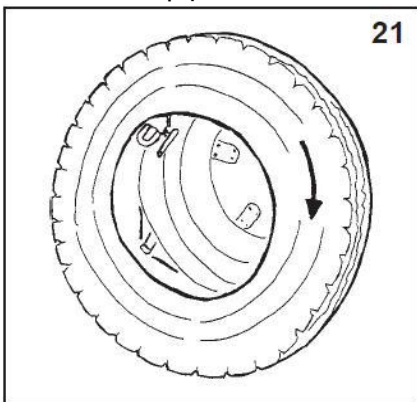
図－17

1 L型ツールをタイヤの方向に回します。更にL型ツールをピン
を差し替えて上向きにします。
2 L型ツールをビードとリムの間に差し込みます。
3 タイヤを少し上昇させ、ビードとリムの間に隙間を作ります。
4 隙間にビードロングレバーを差込みビードを出します。
（図－17）

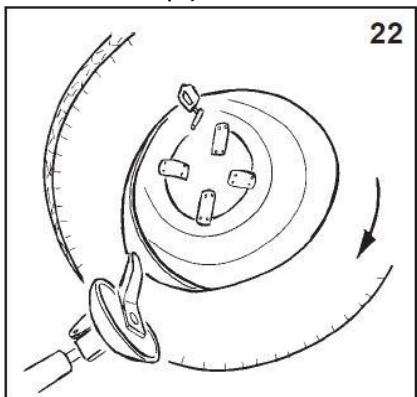
図－18

5 そのままタイヤを左回転させるとビードが外れます。
（ビードがリムに噛んだらレバーを外します）
（図－18）

図－19

6 L型ツールの向きを変え裏側へ移動します。
前と同様にツールを差込み、リムの間に隙間を作り（図－19）
前からレバーを差しビードを引き出します。
タイヤを左回転させるとビードが外れます。

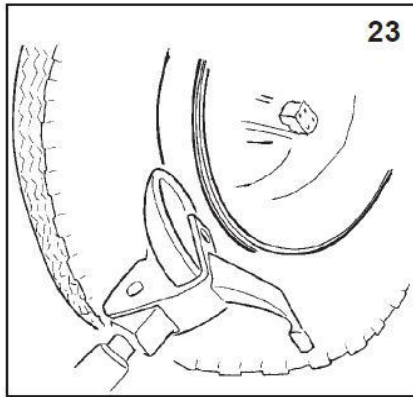
11.L型コンビネーションツールを用いてタイヤを組込む方法

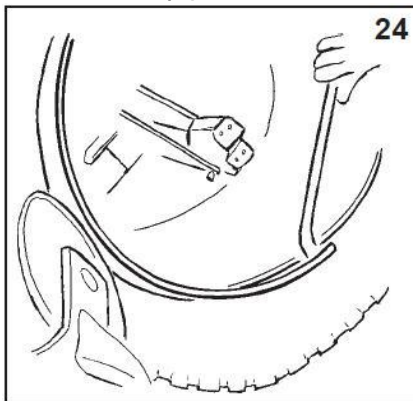
図－20

1 扁平タイヤの場合、ディスクが入りにくい時はL型ツールを
用いて組込みます。
2 リムエッジにビードクランパーを固定します。
3 クランパーにビードを引っ掛けて持ち上げます。

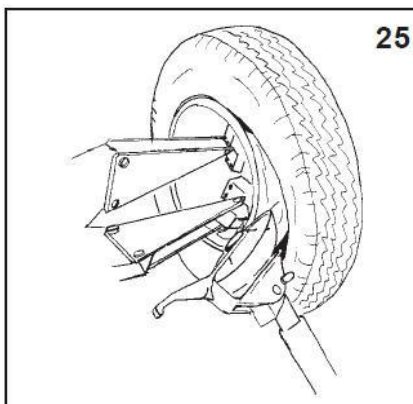
図－21

4 L型ツールを裏側に移動し、裏側のビードに差込み
右回転して組込みます。（図－21）

図－22

5 表側にL型ツールを移動して、同様に組込みます。（図－22）

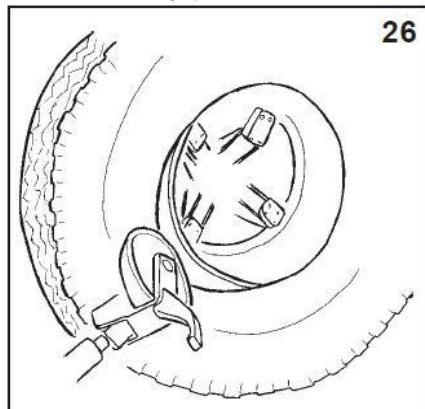
12.割型リム（リング付）の外し方

図－23

1 ディスクをリングとビードの間に差し込むようにして右回転しながらリングとビードの間に隙間を作ります。（ビードを落とす）

図－24

2 約１～２cmの隙間ができたらリングを外します。（図－24）

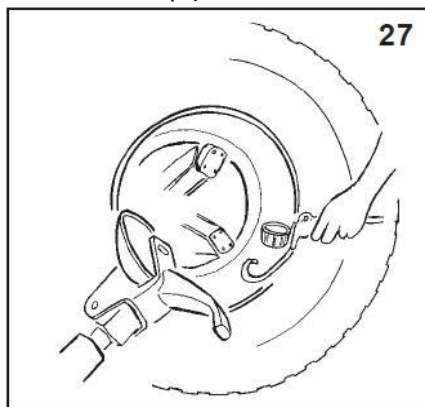
図－25

3 右回転しながら、裏からビードを押し出していきます。
*チューブ付の場合は、バルブに注意してビードを途中まで押しバルブを抜き出してからタイヤが外れるまで押し出してください。

13.割型リム（リング付）の組付け方法

図－26

1 ホイールを先にクランプした後、リムにビードクリームを塗り
予めタイヤにチューブ、フラップを組み入れ、タイヤのビードに
ビードクリームを塗っておきます。

2 バルブを真下にしてテーブルにタイヤを乗せます。
リムのバルブ穴に合うようにチューブのバルブを真下にします。

3 リムをタイヤの中に半分ほど差し込みます。
タイヤを手前に倒し、リムとバルブ穴との間に隙間を作り、バルブをバルブ穴に通します。
ディスクを使用して表ビードを押しながら、フランジ・ロックリングなど組付けます。（図－26）

図－27

4 ツールディスクをリングの前方においてガードし、注意しながら
エアーを充填してください。（図－27）

14.保守整備

1 マウント・デマウント支持柱移動台のスライディングベースは、常に綺麗にし注油してください。

2 3～6ヶ月に一度、各グリースニップル部にグリースを注油してください。

3 6ヶ月に一度、各始動部に潤滑油を注油してください。

4 ギヤーオイル　：　API DT100または同等品

5 油圧オイル　：　API CIS32（ハイドラックス32）または同等品

電源	三相200V
油圧モーター	50/60Hz　三相200V　1.5kw　－　2.2kw　2/4速モーター
タイヤ回転モーター	50/60Hz　三相200V　1.5kw　－　2.2kw　2/4速モーター

保障規定

1、　保証期間は、機械設置の日より１年間といたします。
2、　保証期間内において取扱説明書に従った正常な使用状態において
　　万一生じた製造上の責に帰す故障につき、無償で修理いたします。
3、　保証期間内であっても、下記の条件に該当する場合は修理に要した
　　部品の実費および出張に要した費用などは有料となります。
　　(イ)　保証書の提示がない時。
　　(ロ)　使用上の誤り、不適当な修理や改造による故障、損傷。
　　(ハ)　天災、火災、異常電圧、地変、その他外部からの要因による
　　　　故障、損傷。
　　(ニ)　パッキン、Oリング、ホース、エアーゲージ等の消耗品。
4、　スペアパーツの保有年数を設置して、７年間とします。
5、　保証期間終了後のアフターサービスは有料です。
6、　本保障は日本国内においてのみ有効です。
7、　保証書の再発行はいたしません。

(株) プリーマタイヤサプライズ

〒 160-0022　東京都新宿区１丁目 26 番地３号

電話　03-3358-6908　　FAX　03-3358-6954

http://www.premajapan.co.jp/

MONDOLFO FERRO S.P.A.
Viale dell'industria, 20-61037
MONDOLFO (PU), ITALY,
+39 0721 93671 / FAX +39 0721 930238

www.mondolfoferro.it